

音声トラブル原因&対処法

「聞こえない」「エコーする」「ハウリングする」「ノイズがひどい」など音声トラブルでお困りの時は、以下の方法で解消されるかどうかお試しください。

現象

原因と対処法

■相手の声が聞こえない

相手には自分の声が聞こえているのに、相手の声が聞こえない。



Check! 各映像の下に、マイクの音量を表す**蛍光緑のバー**が表示されます。正しく音声に反応していますか？

Point! ヘッドセット（マイクロフォン+ヘッドフォン）またはイヤホンマイクは、必ず授業に参加する前に、パソコンに正しく接続してください。ピンジャックタイプの場合、色・マークを見て、間違いのないように奥までちかっと差し込んでください。

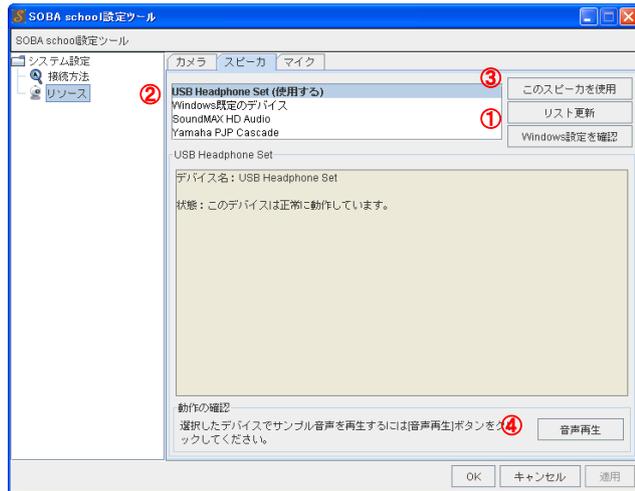
Point! 設定で、動作の確認を行った際、エラー発生の警告が出ていないのに全く反応がない、反応が小さいときは、ミュート（消音）か音量が最小になっている可能性があります。

「Windows 設定を確認」→「サウンド」→「録音」（マイク）または「再生」（スピーカ）で「プロパティ」の「レベル」を確認してください。

■自分側のスピーカの設定が間違っている

相手のマイクが反応している場合、自分側のスピーカの設定に何か原因がある（もしくは機器自体の動作不良）と考えられます。

『設定ツール』からスピーカの設定を確認してください。

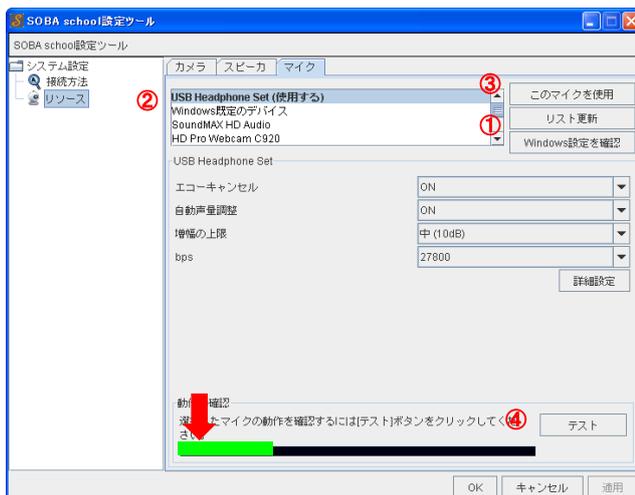


- ① 「リスト更新」をクリック
- ② 使用しているデバイスを選択（上図はUSBタイプのヘッドセットの例）
- ③ 「このスピーカを使用」をクリック
- ④ 「音声再生」して実際に音声聞こえるか確認します。

■相手側のマイクの設定が間違っている

相手のマイクが反応しない場合、相手側のマイクの設定に何か原因がある（もしくは機器自体の動作不良）と考えられます。相手方にマイクの設定の確認をお願いしてください。

①～③スピーカの設定と同様に、④「テスト」してマイクの音量バーが触れるかどうかを確認します。



<p>■エコーする</p> <p>やまびこのように自分の声が 2～3 秒後に戻って聞こえてくるので会話がしにくい状態。</p> 	<p>■使用機器が適切でない・設定ミス等、相手側に問題がある</p> <p>相手方が PC 内蔵マイク（または Web カメラ内蔵マイク）、PC 内蔵スピーカを使用していたら、マイクとスピーカの位置が近くてエコーしやすいので、ヘッドセットを使用してもらうようお願いしてください。</p> <p>ヘッドセットを使用しているのにエコーが発生している場合は、使用するマイクが正しく設定されていないので、設定を確認し正しく設定し直してもらうようにしてください。 →設定方法は前ページを参照ください。</p>
<p>■ハウリングする</p> <p>音のループによって引き起こされる現象で「キ～ン」「ヒコヒコ」等大きな不快音が発生している状態。</p> 	<p>■同じ室内から複数台で参加、エコー発生の原因となる参加者が複数人いる等</p> <p>テスト等で同じ室内から複数台で参加していて、マイクとスピーカをどちらも ON の状態にしていると発生するケースが多いと思います。</p> <p>ハウリングを止めるには、まずハウリングの発生源のマイクを OFF にして、その後全員ヘッドセットを使用する、1 台のみマイク・スピーカを ON にしてその他の配信を OFF にするかミュートにする等、エコー・ハウリングしないように注意してください。</p>
<p>■ノイズがひどい</p> <p>外部の環境音（話し声・交通音・空調音・プロジェクタ等のファンノイズ）や PC 内部のノイズまたは PC に接続したケーブルの断線やマイクのプラグの接触不良によって「ガリガリ」「ジジジ」「ザー」など話者の音声以外の雑音が発生している状態。</p> 	<p>■ノイズの発生源を特定して、適切な対策をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆PC や Web カメラの内蔵マイク等無指向性のマイクは雑音を拾いすぎてしまうので使用しない。 ヘッドセット（USB タイプを推奨）を使用する。 ★ヘッドセットのプラグを抜き差ししたり動かしたりしてみてもノイズがひどいようなら、使用を止めて買い替える。 ☆なるべく静かな場所から参加する。空調の下等は避ける。 ★音が反響しやすい室内からの参加は控える（部屋の窓や壁にカーテンがあると吸音されてエコーしにくい） ☆プロジェクタやノート PC のファンノイズが入らないようにマイクから離す。